

# 平成29年度 決

## 「各世代が笑顔あふれるまちづくり」に

### 主な事業

- ① 都市計画道路整備事業
- ② 多世代交流学習館整備事業
- ③ B & G 海洋センター改修事業
- ④ 特産品開発事業「まつぶし逸品」の商品化
- ⑤ 貸農園整備事業

### 歳入

### 一般会計

### 主な質疑

問	答
人口減と少子・高齢化が進む平成29年度の自主財源の確保と財政運営にどう取り組んだか。	企画財政課長 納税機会拡大や納税者の利便性を図るため、コンビニエンスストアを活用した納付を推進。納税窓口を休日、夜間にも開設した。高額滞納困難案件については解消に努めた。徴収率は前年度比0.7ポイント増、94.6%となった。さらに、国や県の支出金を獲得し、一財財源の圧縮を図った。地方創生拠点整備交付金を獲得し、多世代交流学習館の改修を実施したことがその一例である。
財政運営の硬直性を示す公債費負担比率は10%をどのように捉えているか。	企画財政課長 公債比の状況から財政運営の弾力性を測定する指標で、15%が警戒内、20%が危険とされる目安。将来にわたる公債費ピークの時期、あるいは今後大規模な事業実施に伴う財政負担など予算編成上のポイントになる指標として注視していく。
70～80%が適正な範囲とされる経常収支比率が89.7%である。本町の課題と解決の今後の見通しは。	企画財政課長 29年度は普通交付税が6,600万円減少し、一般財源は扶助費、繰出金増によって昨年度より1ポイント増となった。歳入については税収下降に対するの対策を実施して、一般財源の確保に努め、歳出については各事業をよく精査して経常経費の圧縮を図っていく。
平成29年度の財政調整基金の残高6億135万円は平成28年度に比べ1億1,695万円の減となっている。危惧されることはあるか。	企画財政課長 毎年当初予算を編成する際には、相当額の財源不足が生じている。1億円以上の減額には危機感を実感している。今後、公共施設、道路老朽化による大規模改修扶助費及び人件費の増、自然災害、緊急的な財政出動の想定を踏まえ、より基金の残高を増やしていかなければならないと考えている。
町税の決算額をみる限り、歳入増を図る新たな試みが必要になっている。町はどのように考えているか。	企画財政課長 松伏・田島の企業誘致を進めて、できるだけ早期に成就させて税収を上げていきたい。今後、財政状況を見つつ、例えば目的税の導入の議論など判断していかなければならない。

# 算

# 認定

9月定例議会

9月3日から  
9月25日まで

一般会計と特別会計

歳入総額 159億4287万円

歳出総額 148億3414万円



多世代交流学習館「メロディー」での発表会



赤岩ふれあい農園

## 歳出

### 一般会計

### 主な質疑

問	答
自治会館等維持管理費補助金制度改正が行われた。内容と成果は。	<b>総務課長</b> 自治会魅力アップ事業補助金を見直し、上限を10万円から20万円に引き上げた。昨年度と比較し、78万9,000円の増額となる。事業も1件増え13件の事業に補助をした。
特産品開発事業の経緯、試食販売実績があるが、現時点での販売実績などの成果は。	<b>環境経済課長</b> 平成30年8月末までの販売では、こめるん6本入り985個、8本入り394個。麴ジャムは、175個。この事業が、まち・ひと・しごと創生総合戦略の地域の特産品をPRしたものだ。町内5ヶ所、町外3ヶ所まで販路拡大した。今後、松伏逸品をどのようにブランドとして確立していくか研究していく。
防災費の備品購入費、資機材等で168万円の内容であるが、不用額101万円程出ている理由は。また、災害対策用備蓄品購入費、修繕料の内容と成果は。	<b>総務課長</b> 新たに設立された自主防災組織に対し、防災資機材を貸与するためのもので、当初3団体の設立を見込んでいたが、2団体となった。備蓄品は、災害時に避難した住民に支給する食料や発電機、投光器。松伏町防災計画の想定している避難者数の3日分の食料を備蓄している。賞味期限の関係から2000食を購入した。修繕料は八間堀流末に設置されている大型ポンプを修繕、常時運転できる状態にする必要がある。
小中学校費、要保護・準要保護児童生徒援助費補助金の成果について。	<b>教育総務課長</b> 経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費などを援助する。平成29年度は、入学前の準備金として支給時期を入学後の8月から入学前の3月に。小学生35名、中学生26名に支給した。必要な援助が適切な時期に実施でき、保護者の負担が軽減された。
中央公民館の改修工事は、研修棟の空調工事だが、今回の工事で十分なのか。また、赤岩公民館のリニューアル工事でやり残した部分はあるのか。	<b>教育文化振興課長</b> 中央公民館は約30年経過しており建物全体が老朽化しているもので、十分ということではない。今後修繕すべき所は多々あるので、長期的な計画のもとで実施していく。多世代交流学習館「メロディー」は防水工事、空調、照明、トイレの改修、サロンのスペースを設けるなど、目的達成のための工事は十分やっていた。